



Active stage at HK

～東海南中学校だより～ 令和2年11月号



R2修学旅行 アウトドアを満喫！

9月28日から2泊3日の日程で、晴天の下、3年生は修学旅行に行ってきました。行き先はバスで姫路・神戸ネスタリゾート（2泊）・淡路島です。感染拡大の場合は中止も懸念され、出発までヒヤヒヤでしたが、全員が参加し無事実施することができました。



1日目、まずは姫路城に到着。白鷺城と称されるように、シラサギが羽を広げたような美しく雄大な姿に感動しました。次に向かったのが太陽公園。ノイシュバンシュタイン城や凱旋門、天安門、兵馬俑など実物そっくりのレプリカが並ぶ公園です。生徒らは城内のトリックアートや建物や石像の前で写真を撮り（下写真・天安門で）大喜びでした。そして、ネスタリゾートのホテルに到着。夜は日本三大夜景の一つ摩耶山の夜景を見に行きました。バスから降りて夜道を歩き頂上に着くと、下界には宝石をちりばめたような神戸の街が広がり、生徒は大興奮でした。「お母さんにも見せてあげたい」という声も聞こえてきました。

2日目も晴天の下、ネスタリゾートでアウトドア体験を1日たっぷり楽しみました。テレビのCMでよく見かける、ワイヤーにつながれて時速70kmで空を飛ぶスカイイーグル（私と平間先生も挑戦しました！）や、大きなボールの中に入って転がるキャニオンドロップ、バギーやカヌー、そり滑り、ボルタリングなど、刺激たっぷり。ただ、初めてのことで、飛んだり転がったりする恐怖心乗り越え「やっちゃんえ、自分！」と鼓舞し、挑戦しなければなりません。でも、「みんなで思いきり悔いなく楽しもう」という雰囲気を作りながら、どんどん積極的に活動している皆さんの姿が微笑ましかったです。その夜はバーベキューで、肉を焼くのに悪戦苦闘しましたが、もう食べられないくらい満腹になりました。



そして、3日目最終日は淡路島に渡り、パルシェ香りの館での石饅作り体験、奇跡の星の植物館見学、最後に淡路SAでお土産を買い、観覧車に乗ったり、ソフトクリームや焼き鳥を食べたりと、思い思いに楽しみ、帰路につき18時に学校到着。東京では味わえないアクティブな旅でした。

もっと強くなりたい！ 海草地方新人大会



10月3・4日を中心に、新チームになって初めての公式戦となる海草地方新人大会が各会場で開催されました。夏は県大会が中止になり代替大会となりましたが、今回は県大会も開催されます。壮行会で私は「まずは挨拶で他校に圧勝してほしい」と「足が震えるくらいの緊張感や、ガッツポーズが出るくらいの喜び、そして、負けた悔しさも含めて、大会でしか味わえない感情をいっぱい味わってほしい」の二つの話をしました。いかがでしたか？

さて、結果、野球部（野上中と合同チーム・本校

から6人出場）が、決勝で下津二・海南合同チームに8対3で勝ち優勝。ソフトテニス部が男女共に団体2位。男子個人で西林・仲組と串橋・尾田組がベスト8、陸上部の口井君が100m・200mで2位、森脇君が3000mで3位、武内さんが砲丸投げで2位に入賞し、それぞれ県大会に出場します。健闘を期待します。

新チームにとって、新人大会は結果を出すためだけでなく

これから成長するための大会です。大会が終わったとき

に、「もっと練習して、もっと強くなりたい！」と思えたらいいのです。冬場は駅伝やマラソンの練習などで、しっかりと足腰を鍛え、春を目指してほしいと思います。しんどいことを続けること以外成長する方法はありません。樂をしたい自分に勝つことで、精神力も強くなります。そのことを信じて、自ら進んでしんどいことに挑戦しよう。頑張る自分を好きになるとともに、成長することは何よりも楽しいことです。



車椅子バスケットボール体験

10月9日、和歌山と奈良の車椅子バスケットボールチーム所属の山下さんと恩地さんをお招きして、1・2年生が車椅子バスケットボールを体験しました。山下さんから障害についてのお話を聞いた後、1年生は車椅子の操作を体験し、昨年体験している2年生は、実技練習後、実際に試合を行いました。生徒は、はじめは操作に戸惑っていましたが、後半は車椅子にも慣れ、試合を楽しめるまでになりました。障害のあるなしに関わらず、スポーツを楽しむ気持ちは同じです。講師先生2人のひたむきさと明るい人柄に触れ、共に楽しく汗を流して試合をできたことで、理屈ではなく、様々な気づきや学びがあったことでしょう。



文化表彰

新人大会とともに、作文など文化関係の表彰伝達をようやく行うことができました。これも大事なアクティブステージ。皆さん、素晴らしい感性です！

○ 海草地方コンクール Ⅱ類優良賞(自由詩) 二川 凜

○ 少年メッセージ2020海草地方大会 銀賞 箸尾乃絵瑠 入賞 清水風花 芝田千陽